

H29年 5月24日(水) 14:30～

H29年度 笑寿苑 第1回 運営推進会議

出席者：入居者代表

家族代表

行政代表：雲南広域連合 次長 介護保険課長

地域代表：民生委員

施設代表：施設長、介護主任（介護支援専門員）、看護主任

介護職員：がいな家エットリーダー、

生活相談員、介護支援専門員：司会進行及び記録

欠席者：介護職員：まめな家エットリーダー

1. 開会

2. 施設長挨拶～本日はお忙しい中、皆様にお集まり頂きましてありがとうございます。

今年度第1回目の運営推進会議という事で、皆様には格別のご理解とご協力頂きまして誠にありがとうございます。2ヶ月に1回運営推進会議を開催する事となっており、この度も入居者の方やご家族、地域の代表の方、行政の方からご意見、ご要望を伺い、さらなるサービスの質の向上に努めて参りたいと思います。皆様の忌憚のないご意見を宜しくお願い致します。

3. 運営推進会議 委員紹介

- ・名簿順に自己紹介を行う（上記出席者参照）

4. 活動状況報告

(1) 笑寿苑利用状況

- ・別紙、笑寿苑利用状況をもとに説明を行う。
- ・笑寿苑入居者の平均介護度は4.2（エット3.84）、平均年齢は88.6歳。
- ・出身地別では、加茂町の方は34名（エット8名）、大東町の方は28名（エット8名）、木次町の方は3名（エット2名）、三刀屋町の方は3名（エット1名）となっております。

(2) 笑寿苑での取り組みについて

- ・H29年3月11（土）～12（日）神戸市で開催された「第16回気づきを築くエットが全国実践者セミナー」にて笑寿苑での取り組みを発表。今回のエット推進会議の場において改めて報告させていただく。

◎発表事例：ツール（福祉用具）の使い方

- ・ユニット入居者の方の重度化に伴い、食事、入浴、排泄などといった移乗等の際に、入居者の方や職員双方に負担がかかる状況にあった。



- ・高齢者の方は特に皮膚が弱く、移乗などの際に皮膚の怪我が発生しやすい状況にあった。
- ・職員の中には腰痛を発症し、休暇が必要になった状況があった。



- ・入居者の方に痛みを与えるようなケアはいけない！！
- ・入居者の方はもちろん、入居者、職員双方に優しいケアを。もう一度移乗方法を検討しよう。



- ・平成25年6月18日 厚生労働省より「職場における腰痛予防対策指針」を改訂
その中で、「介護看護作業等において福祉用具（機器や道具）を導入するなど、省略化を行う必要がある」と記載されている。



- ・六つの福祉用具の活用
①マルチグローブ ②スライディングシート ③ポジションング枕 ④スライディングボード
⑤移乗用リフト ⑥入浴用リフト



・成果

- 入居者の声～「これは良いもの」、「痛みがなくなって楽に上がれる」などなど
- 職員の声～「身体への負担が大分違う」など
- ・入居者の方の皮膚の怪我などが減り、入居者や職員双方の負担が軽くなった。
成果が出た事で新たな気付きが増えた。

(3) 今後2ヶ月の活動予定報告。

- ・6月、7月では、笹巻作りや夏祭りといった季節の行事を予定しています。また、ちょっこし外出、天候や入居者のご希望に合わせてドライブなどの活動を提供していきたいと考えています。

(4) その他

- ・入居者 ～ 特に明確なご希望などは話されませんでしたが、季節の行事等にも参加活動されています。
- ・ご家族 ～ 「特に希望などはないです。自分自身が病気になり、健康の大切さや病気になった時のつらさなどが分かりました。同時にこちらで看てもらっているありがたさも感じています」
- ・施設職員～ 「ユニットでのご本人さんは体調も良く過ごされています。病気をされる

前では、他者との交流を好まれ、活動にも熱心に取り組んでおられたので、今後ご本人さんに意向をお尋ねしながら楽しみにつながるようなサービス提供に努めていきたいと思っています」

- ・行政代表～ 「先程事例報告を見させてもらいましたが、福祉用具の活用をいつ頃から導入されたのか？他の施設でも同じような状況（福祉用具の活用）にあるのでしょうか？」
- ・施設職員～ 「福祉用具を活用し始めたのは去年の10月頃です。当初は比較的導入し易いマルチグローブなどから始め、成果を感じ始めた後に移乗用及び入浴用リフトを導入していきました。」
「神戸市で発表させてもらった時に、会場参加者である他施設等の職員からたくさんの質問を受け、その質問の内容からすると、福祉用具を積極的に活用している所は少ないように感じました。他の施設さんでもこれから活用してみたいと興味を持たれたのではとも感じました」
- ・地域代表～ 「ベッドから車椅子へ移動では、六つの福祉用具はどのように使用するのでしょうか？」⇒施設職員より説明させてもらう。
- ・施設代表～ 「報告でもありましたが、全ての入居者の方に福祉用具を活用できるわけではなく、それぞれの心身状況によって活用出来ない事もあります。大切なのは、入居者の方にとって最適なケアをその時の状況に合わせて提供していく事だと思います。最適なケアを提供していく為には、入居者の方と職員が都度コミュニケーションを図りながら（自分の想いを言葉にして表現できない方場合は、表情や仕草などで想いを汲みとっていく）入居者の方共にケアを築いていく（信頼関係）事に改めて気付く事が出来たと思います」

*入居者代表及びご家族代表は、状況（入居者の体調や、ご家族の都合など）により都度変更があります。

(5) 次回開催予定

・平成29年 7月 27日（水） 14：30～ 場所：笑寿苑 機能訓練室